



日本国が一番日本らしく美しく映える 4 月。官公庁多くの教育機関、企業の事業年度が替わりスタートの月、我社も令和 5 年度の幕開けである。社長としては 3 月決算の数字を受けて各金融機関に業績報告をしながら新年度もご支援いただきたいと事業報告及び計画を伝える経営者にとっては緊張の連続の日々を迎える。3 月末現在では未だ月次決算の集計結果は全くわからないが、昨年度に比べると平塚の勢いが弱く、燃料高騰と車両の入換、各種部品・オイル・光熱費等など全ての経費が値上げとなり、上がらないのは運賃と給料だけ 皆さんもそう強く感じていますよね、……、（ごめん） 毎年今年こそは、と思いいいどころにかならないかと取引先とは都度運賃改定を求めているのだが、中々上げてもらえない。となれば仕事を変えるか、抱き合わせをして皆さんには多少労働時間を増やして運賃収入と手当を上げるかになるが、あまり労働時間を増やすのは避けたいので頭を悩ませる。昔は「働かざる者食うべからず」だったが今は「労働生産性アップ」「楽しく儲けろ」と言われる。私たちの業界は一般企業とは違い労働集約産業。我々の仕事の重要性をもっと世間に知らせないと！地位向上しないと！と思い私はトラック協会の本部役員にもなり、そこで「広報情報委員会」に属し、どうすれば世間にこの仕事の実態と重要性を知らしめ運賃交渉が通りやすくなるかの活動にも関与しているのだが大手の運送会社の社長とのやり取りでも時々歯がゆいものを感じる。父が全日本トラック協会の役員をしている頃はまだこの業界の役員も政治力をつかえていたが、今は力不足を感じる。しかしながら世間がこの業界を本当に「エッセンシャルワーカー」として医師等と同じように社会になくてはならぬ職、もっと価値を認めそれなりの対価を差し出すべきと認めさせるのは皆さん方の仕事の仕方、運転マナー、接客態度、仕事での顧客への発言等々にかかっています。TV ニュースに出るような「あおり運転」「ハンドルに足を乗せエンジンかけっぱなしで公道で寝てる」「食べた残骸を窓からポイ捨てしている」「サンダル履きでの仕事」「飲酒運転」等々。せめて我社ではこのような事は絶対許せません。荷主に対して交渉の席にも座れない会社にはなれません。何故なら我社はあと数年で創業 100 年を迎え 2 代目の鈴木成正是勲 5 等まで天皇陛下から直に表彰され昨年 8 月に 95 歳で逝去された後もその功績を内閣総理大臣より表彰された会社です。私は表彰される事などはどうでも良い。鈴木運送は働き甲斐があり、長く務めたいとみんなが思ってくれて顧客からの信頼も得、それなりの収入も得られる会社。満足度と問われたら「90%満足しているよ。後の 10%はもっと良くなるはずという期待値！」と皆が言ってくれる会社になれば大満足です。夢は願うだけじゃなく叶えなくちゃね♥

がんばりま〜す。父母が去り、子供たちも家を出て自宅は後期高齢者 2 名の生活で新たな目標を設定するにはちょうどいい新年度ですしね（半分負惜しみ？）！！！！

{生きていることは素晴らしい！この世界はおもしろいことでいっぱい！}

～アレクサンダーグラハム ベル～



4 月に誕生日を迎える方々

4 月 5 日 本社 東電物流 2t 専属

7 日 本社 運行管理者

8 日 本社 DS 大庄便専属

10 日 本社 一般貨物配送便



29 日 平塚 YTR プレシア埼玉便専属

